

ママが調べた 埼玉県 市町村別 給食放射能対策 2013 年版

目 次

南部教育事務所		西部教育事務所		北部教育事務所		東部教育事務所	
さいたま市	3	川越市	7	熊谷市	15	行田市	19
川口市	3	所沢市	8	秩父市	15	加須市	19
鴻巣市	3	飯能市	8	本庄市	15	春日部市	19
上尾市	4	東松山市	8	上里町	16	羽生市	20
草加市	4	狭山市	9	深谷市	16	越谷市	20
蕨市	4	入間市	9	横瀬町	16	久喜市	20
戸田市	5	富士見市	9	皆野町	17	八潮市	21
朝霞市	5	坂戸市	10	長瀨町	17	三郷市	21
志木市	5	鶴ヶ島市	10	小鹿野町	17	蓮田市	21
和光市	6	日高市	10	美里町	18	幸手市	22
新座市	6	ふじみ野市	11	神川町	18	吉川市	22
桶川市	6	三芳町	11	寄居町	18	宮代町	22
北本市	7	毛呂山町	11			白岡市	23
伊奈町	7	越生町	12			杉戸町	23
		滑川町	12			松伏町	23
		嵐山町	12				
		小川町	13				
		川島町	13				
		吉見町	13				
		鳩山町	14				
		ときがわ町	14				
		東秩父村	14				

調査概要

この調査は、埼玉県下の自治体の給食の放射能対策をまとめたものです。

- ・ **調査期間** 2013年2月～7月※1
- ・ **調査方法** 各自治体のホームページの記載をもとにして、調査項目の不明部分を、各自治体の担当部署に電話をして聞き取り調査をしました。調査は「子ども未来@寄居・深谷」ならびに「3.11市民ネット深谷」のメンバー有志が分担して行いました。※2

※1 調査が2012年、2013年の両年度にまたがったため、自治体によっては、対策が変更されたことも考えられます。

※2 電話で聞き取った内容の中には、担当者の個人的な考え、あるいは現場責任者の判断と思われるものもあり、それが自治体の公式の方針であるかどうかまでは、確認していません。

表中の用語解説

・シンチ

NaI シンチレーション検出器。この検出器は、価格は150万～400万円程度で、簡易食品検査に用いられます。扱いが比較的容易で、自治体職員が検査に用いているのはほとんどがこの機種です。

・ゲルマ

ゲルマニウム半導体検出器。この検出器は、価格が1500万円以上で精密検査に用いられます。機器の維持・管理が難しく、一般に専門の測定業者が用いています。

・I131、Cs134、Cs137

順に放射性ヨウ素131、放射性セシウム134、放射性セシウム137のこと。給食検査では、この3種類の放射線を測定しています。

国の基準値は放射性セシウムのみを対象としています。原発事故で放出された放射性核種は数十種類に及ぶとされていますが、シンチやゲルマではγ線核種しか測定できないため、例えばβ線を出す放射性ストロンチウムやα線核種を出すプルトニウムは測定できません。

・検出下限値

給食検査ではI131、Cs134、Cs137が各10Bq/kg前後、Cs134、Cs137合算20～40Bq/kgで測定されています。

機械の特性上、測定時間を長くするほど精密に測れますが、諸事情から短い時間での検査が多くなっています。検出下限値を設定してそれ以上の測定はしていない自治体もあります。

・自治体による検査

放射線測定器を購入、消費者庁等から貸与を受ける、県の施設に出向いて測定するなどのパターンがあります。いずれも自治体職員による検査です。測定器はシンチがほとんどです。

自治体が利用する県の施設は次の5箇所です。

- ①さいたま市内（岩槻学校給食センター）
- ②熊谷市内（江南行政センター）
- ③狭山市内（堀兼学校給食センター）
- ④横瀬町内（学校給食調理場）
- ⑤宮代町内（町役場）

・外部委託（測定的外部委託）

放射線測定を専門業者に委託すること。ゲルマ

ニウム半導体検出器で測定となります。

・自校方式

校内で自校の給食を作っています。保育所はほとんどが自園方式ですが、今回の調査では詳しく調べることはできませんでした。

・給食センター（ ）

共同調理場で複数校の給食を一括して調理しています。（ ）内の数字は給食センターの数。多くは自治体直営の施設ですが、中には民間業者に委託している自治体もあります。

・ミックス

①1食ミックス→1食分を丸ごとミキサーにかけて測定する。

②1週間ミックス→1週間(5日)分を冷凍保存してまとめてミキサーにかけて測定する。

保育所では給食のほかにおやつもミックスして測定しているところもあります。

・食材

①単品→使用する食材を単品で測定する。

②食材ミックス→使用する食材をミックスして測定する。

・提供前・提供後

「検査」「検査結果の公開」「食材産地の公開」を、提供(食)前にするか、提供(食)後にするか。「提供前検査」「提供後検査」「提供前公開」「提供後公開」「聞かれれば答える」「非公開」のパターンがあります。

・国の基準値、県の基準

多くの自治体は、検出しても基準値以内であれば、給食を提供すると回答しました。しかし、国の基準とは別に自治体の判断で独自の基準を設けたり、国の基準値以下であっても検出された数値が大きければ提供しないなどの対応をしている自治体があります。以下は、食品衛生法の放射性セシウム新基準値（平成24年4月1日～）

対象	放射性セシウム
一般食品	100Bq/kg
乳幼児食品	50Bq/kg
牛乳	50Bq/kg
飲料水	10Bq/kg

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	さいたま市	川口市	鴻巣市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ (TN300B)	シンチ (AT1320A)	シンチ (TN300B)
検出下限値	I131, Cs134, 137各10Bq/kg	I131, Cs134,137各20Bq/kg	Cs134,137各10Bq/kg (合算20Bq/kg)
測定器保有数	0	3(保護者から尿Cs検出を受けて購入)	0
自治体測定器 以外	県施設(さいたま市)	なし	県施設(熊谷市)
給食方式、 その数	自校方式 148校 給食センター(2) 14校 保育園 市立61 私立84	自校方式 29校 給食センター(4) 50校……献立は3 つ	自校方式 12校 給食センター(4) 8校 保育所 市立8 私立7
測定主体	健康教育課 保育園	学校保健課 保育園	学校教育部/学校給食課/管理担 当 中学校給食センター
検査方法 (食材、ミックス)	食材	食材 1食ミックス	食材 1食ミックス
検査品目の 選定基準	給食で使用予定の市内で流通す る農産物等	使用量の多いもの	使用量の多いもの
結果の 公表方法	インターネット, 献立表 保育園はバラバラ	インターネット(20Bq/kg以下は不 検出と表示) 給食だより(各校に任せている)	インターネット
各施設の 検査頻度	学校:週4回, 1日2品目 保育園:週1回, 1日1品目	毎日(食材10点前後と1施設)	月1回, 6施設程度を調べる 1施設あたり3回/年
検査の給食 提供前後	提供前	提供前 (前日納入可能なものは前日に。 なるべく提供前を目指している。)	提供後
産地、品目の 選別	—————	風評被害に繋がるので公にはし ていないが産地を考慮している (しいたけ, たけのこは九州)	震災前と同じにしている。
検出時の対応	50Bq/kgを超えたら使用停止	その時の状況判断。茨城の栗から 30Bq/kg検出されたことがあった が, 1人当たり10g提供だったた め, 公表したうえで使用した。	決まっていない。県の基準で。
対象施設	市立小中, 特別支援学校160校 市立保育園62園	市立小中学校, 市立保育所, 県 陽高校(定時制)	小・中学校27校及び公立保育所8 民間の保育所は検査していない。
食材の 産地公開	給食だよりで事後公開 保育園は自園式のため, 園によっ て対応が異なる。	予定になってしまうが給食だより にて提供前(事前)公表 保育園は自園式のため, 園によっ て対応が異なる。	検査品のみ事後公開。保護者か らの問い合わせには答える。

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	上尾市	草加市	蕨市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ	シンチ	シンチ (AT1320A)
検出下限値	合算20Bq/kg	I131, Cs134,137各10Bq/kg	I131, Cs134,137各20Bq/kg
測定器保有数	0	1	2(学校1, 保育1)
自治体測定器以外	1(消費者庁貸与)	なし	なし
給食方式、その数	自校方式 22校 給食センター(1) 11校 保育 市立8 私立7	自校方式 32校 保育所 市立19 私立9	給食センター(1) 10校 保育園:公5, 私2(認可)
測定主体	生活環境課, 学校保健課 給食センター, 保育課	環境課 公害対策係	教育部 学校給食センター 福祉課 保育係
検査方法 (食材、ミックス)	食材 1食ミックス	1食ミックス	学校:食材(6品目), 1食ミックス 保育:食材(米, 牛乳), 1食ミックス (完成後の給食)
検査品目の 選定基準	東北, 関東のもの。たけのこやかんきつ類など検出されやすいもの。	なし(ミックス検査のため)	使用頻度の高いもの
結果の 公表方法	インターネット	食べたあとにインターネットで	インターネット
各施設の 検査頻度	1校当たり月に2, 3回	毎日	学校:毎日 保育:牛乳1回/週, ミックス1回/2週, 米は納品するたび
検査の給食 提供前後	提供前(食材) 提供後(ミックス)	提供後(翌日に検査する)	提供前 (食材は当日10:30頃, ミックスは11:30頃)
産地、品目の 選別	たけのこ, かんきつ類, しいたけなど検出されやすいものは西のもの。	各調理場の判断	_____
検出時の対応	基準値を超えた場合は使用しない。	基準値超過の場合, 使用した食材を種類ごとに, 産地等について同等品を調達し追跡調査を実施。原因食材については使用を当面中止し, 安全が確認された場合は使用を再開。	100Bq/kg以上は使用しない。検出されたら教育委員会で協議
対象施設	公立小中学校, 公立保育園	公立小中学校, 公立保育園, 民間保育園, 障害者施設	小中学校, 認可保育園
食材の 産地公開	給食だよりで事後公開	各調理場の判断	事後公開, インターネットで月の終わりにまとめて

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	戸田市	朝霞市	志木市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ (LB200・LB2045)	シンチ	シンチ (CAPTAS3000A)
検出下限値	I131, Cs総量20Bq/kg未満	I131 25Bq/kg Cs134,137各10Bq/kg	I131, Cs134,137各10Bq/kg
測定器保有数	10	4(学校2, 保育2)	1
自治体測定器以外	なし	なし	なし
給食方式、その数	給食センター(1) 9校 自校方式 6校 保育園 市立8, 私立13	自校方式 2校 給食センター(1) 13校 保育園 公9 私18 (認可11)	自校方式 12校 保育園 公6, 私9
測定主体	学校給食課, こども青少年部保育幼稚園課	学校給食課 子育て支援課	学校教育課 子育て支援課
検査方法 (食材、ミックス)	学校:1食ミックス, 食材(6品目程度) 保育, 幼稚園:1食ミックス(給食, おやつ), 食材(公立は学校に準 ずる)	学校:1食ミックス 保育:1食ミックス, 食材(牛乳, 米)	1食ミックス
検査品目の 選定基準	なし(調理師の判断)	なし(ミックス検査のため)	なし(ミックス検査のため)
結果の 公表方法	インターネット	インターネット	翌日にインターネット
各施設の 検査頻度	学校:毎日 保育:公立は週3回, 私立は週2回	学校:毎日 保育:毎日4~5園を輪番制	ほぼ月に1回
検査の給食 提供前後	学校:提供前(調理と並行) 保育:提供後 (学校へ持っていくため)	提供前	提供前
産地、品目の 選別	—————	産地の指定はできない。	地元産食材を地産地消
検出時の対応	原則として国の基準値に従うが, 各校の調理師の判断にまかせる。	学校:100Bq/kg超過で対応 保育園:50Bq/kg超過で対応	国の基準値を超えた場合は廃棄 処分, 給食には使用しない。
対象施設	小中学校, 保育園	公立学校, 市内保育園(民間認可 保育園を含む)	市内小中学校と保育園(民間認 可保育園を含む)
食材の 産地公開	保育園は園ごとの掲示板に公開。 小中学校は問い合わせれば答 える。	学校:前月の食材をインターネット に事前公開 保育園:事前公開。肉, 魚は当日 確認のため各保育園のサンプル ケース付近に表示	なし 問い合わせれば答える。

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	和光市	新座市	桶川市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	ゲルマ	シンチ ゲルマ	ゲルマ シンチ
検出下限値	保育:Cs134,137各2.5Bq/kg 学校:Cs134,137合算5Bq/kg	食材:Cs134,137合算20Bq/kg ミックス:1~0.7Bq/kg	食材:Cs134,137各10Bq/kg ミックス:I131,Cs134,137各2Bq/kg
測定器保有数	0	1	1
自治体測定器以外	外部委託	市保有はシンチ 外部委託はゲルマ	外部委託, 消費者庁貸与
給食方式、その数	自校方式 11校 自園方式 公立2, 私立10	自校方式 23校 自園方式 公立7, 私立20	自校方式 11校 自園方式 公立4, 私立6
測定主体	学校教育課 子ども福祉課	学務課 保険給食係	学校支援課 保育課
検査方法 (食材、ミックス)	1週間ミックス	食材 1食ミックス 1週間ミックス	食材, 1食ミックス
検査品目の 選定基準	なし(ミックス検査のため)	使用頻度が高く使用量の多いもの	—————
結果の 公表方法	インターネット, 献立表	インターネット	インターネット
各施設の 検査頻度	小中学校は毎週輪番 保育園はすべての保育施設を年3回ずつ。	食材は週1回, 1食ミックスは週2回, 12週で全校(園)が一巡する。 1週間ミックスは月に6校4園を検査	学校:統一献立で食材検査(3品)を毎日1校, 1食ミックスを毎週1校 保育所:市内統一献立で年15回
検査の給食 提供前後	提供後	提供後	提供前(食材) 提供後(ミックス)
産地、品目の 選別	なるべく地元産を使用	なるべく地元産を使用	産地を多少考慮
検出時の対応	—————	国の基準値以上ならば検討	10Bq/kgを市の基準値とし, 超過の場合は行政に報告
対象施設	市内小中学校, 公立保育園	市内小中学校, 公立保育園	市内小中学校, 公立保育園
食材の 産地公開	小中学校は事後にインターネットで公開 保育園は公開なし	インターネットで事後	インターネットにて

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	北本市	伊奈町	川越市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ	シンチ (RAD IQTM FS200)	シンチ (TN300B)
検出下限値	I131, Cs134,137各6.3Bq/kg	25Bq/kg(10分測定時)	I131, Cs134,137各5Bq/kg
測定器保有数	1	1(役所にもう1台保有)	1
自治体測定器以外	国からの貸与	なし	なし
給食方式、その数	給食センター(1) 4校 自校方式 8校 保育所(園) 公立4 私立8	給食センター(1) 7校 保育園 公3 私3	給食給食センター(4) 54校 納入業者はすべて一緒 保育所 公立20, 私立20
測定主体	教育総務課 こども課	伊奈町役場学校給食センター	学校給食課 保育課
検査方法 (食材、ミックス)	1食ミックス	1食ミックス 毎日, 給食の完成品 1食分を粉砕混合した検体を測定	学校:食材, 1食ミックス 保育:1週間ミックス
検査品目の 選定基準	なし(ミックス検査のため)	なし(ミックス検査のため)	その日の給食に対しての使用量
結果の 公表方法	インターネットで当日の午前中	学校:当日の正午までに町ホーム ページで公表 保育:園に検査結果を掲示	インターネット, 献立表
各施設の 検査頻度	毎日 食材の仕入先が同じで, 毎日1校 ずつを順番に検査する	学校:毎日1回 保育:週1回	学校は毎日 保育園は月に1回程度
検査の給食 提供前後	提供前	提供前	学校 提供前 保育 提供後
産地, 品目の 選別	地元産を多く使用	国の基準にしたがう	
検出時の対応	国の基準値以上ならとめる。	基準値を超えた場合の対応は, 主食, 主菜, 副菜, 牛乳等毎に再 検査し基準値を超えたものを除い た部分給食とする。	50Bq/kgを超えたら使用を控える。
対象施設	市内小中学校, 公立・私立保育施設	市内小中学校, 保育所は公立民間 区別なく実施	市内小中学校, 公立保育施設
食材の 産地公開	公開していない。	学校, 公開はしていないが問い合 わせには答える。	給食だよりで食後

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	所沢市	飯能市	東松山市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	ゲルマ	シンチ (AT1320A) ゲルマ (GEM25-70)	シンチ (AT1320A)
検出下限値	I131, Cs134.137各0.3~0.4Bq/kg	I131, Cs134.137各10Bq/kg(ゲルマ)	Cs134.137合算20Bq/kg
測定器保有数	0	2	1
自治体測定器以外	外部委託	なし	なし
給食方式、その数	自校方式 15校 給食センター(2) 32校 保育:公立19,私立31,認2,民1	自校14, 給食センター11, 保育園:公立10, 私立5	給食センター(1委託) 8校 保育 公立5 私立7
測定主体	こども未来部保育課, 教育委員会学校教育部保健給食課	給食検査:環境部環境緑水課 食材検査:教育部学校教育課	教育総務課 学校給食センター
検査方法 (食材、ミックス)	1週間ミックス 食材	1週間ミックス(5食分) 一部食材	1食ミックス(おかず毎に全品)
検査品目の 選定基準	状況に応じて必要のあるもの	使用頻度の高いもの, 米, 牛乳	なし(ミックス検査のため)
結果の 公表方法	インターネット, 広報, メール	学校:インターネットで公開 保育:定期的に食材の放射性物質測定結果を通知	インターネットで事前
各施設の 検査頻度	状況に応じて時々	月1回程度, 輪番で	公立小中学校と公立保育園は毎日 民間保育園は隔週
検査の給食 提供前後	提供後	提供後	提供前
産地, 品目の 選別	産地, 海域の指定をし汚染を考慮	各学校に任せている。	_____
検出時の対応	_____	決まっていない。	教育委員会で実施する事前検査 で市が定めた1キログラム当たり20 ベクレルを超える数値が検出され た献立は, 園児及び児童・生徒に は提供しません。
対象施設	市内小中学校, 公立保育施設	市内小中学校, 公立保育施設	公立保育園・民間保育園・学校給 食センター・埼玉学校給食(株式 会社)
食材の 産地公開	事前。学校はインターネットにて前 週金曜に公開。 保育園は各園で公開	事前公開。毎日学校, 保育所に 張り出している。	インターネットで事前

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	狭山市	入間市	富士見市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ (テクノエーピー社製, TN300B)	シンチ(GDM-12) ゲルマ(外部)	ゲルマ (セイコーEG&GSEG-EMS)
検出下限値	学校:I,Cs134,137各10~15Bq/kg 保育:I,Cs134,137各10~30Bq/kg(20分)	シンチ:I, Cs各10Bq/kg ゲルマ:I, Cs各0.45~0.88Bq/kg	I131・Cs134,137 各5Bq/kg
測定器保有数	0	1	0
自治体測定器以外	県施設(狭山市)20分の測定	(株)武蔵臨床研究所 文科省学校給食モニタリング事業 日本冷凍食品検査協会(横浜)	1(環境総合研究所)
給食方式、その数	学校 給食センター(3) 25校 保育 市立9 私立14	自校 16校(小学校) 給食センター(1) 11校(中学) 保育園 市立10, 私立15	学校 給食センター(2) 19校 保育 市立6 私立7
測定主体	学校教育部入間川学校給食センター 福祉子ども部保育課	福祉部児童福祉課保育担当 教育総務部学校給食課学校給食担当	富士見市学校給食センター(学校) 保育課(保育園)
検査方法(食材、ミックス)	食材 学校:毎週5品, 保育:毎月1回 3~5品	保育所:食材, 1食ミックス 小学校:食材, 1食ミックス 中学校:1週間ミックス	小中学校は単体だったり, 汁物だけなど様々。 保育園は1食分を1週間ミックス(汁物・麦茶牛乳もすべて)
検査品目の選定基準	野菜中心, いろいろな産地を調べるようにしている	使用頻度の高いものを任意で	保育園は流通しているものは安全との観点から考慮なし 小中学校はシイタケなど危なそうなものは避けている
結果の公表方法	インターネット	インターネット, 中学校はモニタリングのため埼玉県インターネット	献立予定表・インターネット
各施設の検査頻度	学校:毎週1回 保育:毎月1回 2~5園	保育園:食材は月1回, ミックス不明 小学校:食材週1回, ミックス週1回, 外部委託は学期1回 中学校:週1回	小中学校は週1回 保育園は月1回
検査の給食提供前後	学校 提供前 保育 提供後	提供後	提供後
産地、品目の選別	とくにしていない。	—————	保育園はミックスのため, なし。 小中学校は季節によって使用頻度の高いもの。北関東や地元のものには検査をやりつくした。1度検査したものは再検査しない
検出時の対応	国の基準に従う。	100Bq/kg以下なら使用	食べた後なので, 小中の場合は単品検査で出た食材は今後は避ける予定だが, 特に規定はなし。 保育園では検出されたら医師に相談のうえ, 検討する。
対象施設	市内小中学校, 公立保育施設 民間保育所は対象外。	公立学校, 保育園 私立に関しては, 市の保有する測定器を開放している	公立学校 公立・私立保育園
食材の産地公開	学校:来月の予定と今月の結果の2つをインターネットで公表している。保育園は保護者の問い合わせには答える。	学校は一括購入品を食後にインターネットで公開 保育所は公開なし(問い合わせには応じる)	小中学校は食材の使用予定表とインターネットで公開。 保育園はインターネットのみで当日公表。

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	坂戸市	鶴ヶ島市	日高市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	ゲルマ	シンチ (EMFジャパン製)	ゲルマ
検出下限値	I131, Cs134,137各10Bq/kg	Cs134 6.0Bq/kg Cs137 5.0Bq/kg	Cs134,137各10Bq/kg
測定器保有数	0(市所有シンチは給食に不使用)	1	0
自治体測定器以外	株式会社 江東微生物研究所	H23.10.24~H24.3.31の外部検査機関(ゲルマ)による放射性物質影響調査は終了	1(環境テクノ)
給食方式、その数	自校式 20校 保育 公立6, 私立7	給食センター(2) 13校 保育 市立4 私立8	給食センター(1) 12校 保育 公立3, 私立6
測定主体	教育総務課保健給食担当 保育課	学校給食センター 子ども支援課	給食センター 子ども福祉課
検査方法 (食材、ミックス)	食材 1週間ミックス	1食ミックス 食材:前日納品3品目, 当日納品3品目	1食ミックス(1日分の給食2kg, 約3人分をミックス)
検査品目の選定基準	保育:九州産を使用したいが, 実際は選べない。キノコは使用しない。タケノコは水煮を使用。 学校:汚染地のものはなるべく避け, 干しシイタケ, タケノコは九州産。他の野菜はなるべく地元産。危なそうなものは避ける。	野菜, 食肉類は, 出荷制限を受けた17都県が予定産地に含まれる食材	シイタケなど不安のある食材を使用している日に測定
結果の公表方法	インターネットのみ	原則, 給食当日中にインターネット公表	インターネット
各施設の検査頻度	保育園:食材, ミックスともに月3回。 小中学校:月1回	学校給食 毎日測定 保育所毎日, 民間は年に2回	学校:1学期に1回 保育園:1か月に3回
検査の給食提供前後	提供後	提供前(食材) 提供後(ミックス)	提供後
産地, 品目の選別	季節によって使用頻度の高いもの, 検出の報道のあったもの	特にしていない。	_____
検出時の対応	_____	40Bq/kgを上回る食材, 10Bq/kgを上回る牛乳は, 学校給食での使用を控える。	_____
対象施設	公立小中学校, 公立保育園	市立小中学校, 保育所	公立小中学校, 公立保育園
食材の産地公開	食材測定したものの産地はインターネットに載せている。 小中学校は聞かれたら答える。保育園は公表なし。	学校・保育 事前に1月分をインターネットで公開	なし(風評被害を防ぐため)

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	ふじみ野市	三芳町	毛呂山町
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	ゲルマ(ミックス) シンチ(単品食材)	ゲルマ	ゲルマ (GC2020)
検出下限値	ゲルマI, Cs各10Bq/kg シンチCs合計20~30Bq/kg	ゲルマ I,Cs134,Cs137 各 10Bq/kg	I131, Cs134.137各10Bq/kg
測定器保有数	0	0	0
自治体測定器 以外	ゲルマ(外部検査所) シンチ(県施設 狭山市)	外部の業者に委託。結果は2週間 後くらいになる。	外部委託 武蔵臨床検査所
給食方式、 その数	給食センター(2箇所)19校 保育園 公6 私7	給食センター(1箇所)8校 保育 公立2, 私立3	給食センター(1) 6校, 保育所:公2, 私5
測定主体	学校給食課 子育て支援課	三芳町立学校給食センター こども支援課・保育係	給食センター こども課
検査方法 (食材、ミックス)	1週間ミックス(5日分の給食提供 食を検査機関に委託) 単品検査2品目	学校:食材 毎月4品 保育:1食ミックス(調理済み給食)	一週間ミックス 過去に食材検査3回実施(2012/5 干しいたけ, 2012/7たらこ, 2012/12大根)
検査品目の 選定基準	特にないが、同じものにならないよ うにいろいろな食材を検査	使用頻度の多いもの	危ないと思われる食材がある場合
結果の 公表方法	ミックス:学校, 保育インターネット 単品食材:学校のみインターネット	インターネット	学校:後日インターネット
各施設の 検査頻度	ミックス月2回 単品食材各施設月1回	学校・保育 毎月1回	週1回
検査の給食 提供前後	提供前(食材) 提供後(ミックス) 「だいたい」という修飾語がつく	提供後(結果は1~2週間後)	提供後
産地、品目の 選別	産地選別はしていない。	—————	できれば汚染地域から遠い産地 をと業者に口頭でお願いしてい る。
検出時の対応	国の基準値以内で検出された場 合、食材としては使うが、その値の 公表については県と協議する。	検出時は教育委員会の放射能対 策委員会が決める。	飲用水と統一して、10Bq/kgを超 えたら使わない。
対象施設	学校 公立保育園 (民間保育園は対象外)	公立小中, 保育は公立民間区別 なく実施	町立小中学校, 町立保育園
食材の 産地公開	学校 事前に1月分をインターネット で公開 保育, 2013年度から公開中止(保 護者の関心がほとんどないため)	毎月事前に, 学校給食で使用を 予定している主な食材について産 地をインターネットで公表	H25年度公表なし。2学期からイン ターネットに載せるよう努める。指 定業者が2年に1度の選定で, 2年 間は産地もあらかじめ同じなので, 半年に1度程度の公表を予定。

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	越生町	滑川町	嵐山町
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ (TN300B)	シンチ (AT1320A)	ゲルマ
検出下限値	I131, Cs134,137各12～15Bq/kg	Cs134.137合算20Bq/kg	I131, Cs134.137各5Bq/kg
測定器保有数	0	0	0
自治体測定器以外	県施設(熊谷市)	給食センター(東松山)	外部委託(株)環境テクノ
給食方式、その数	自校方式 学校:小2, 中1 保育所:公1, 私1	給食センター(1 外部委託) 4校 保育所 民間4	給食センター(1) 5校 保育 私立4園
測定主体	教育委員会学務課 健康福祉課	東松山市と合同	教育委員会こども課 学校教育担当
検査方法 (食材、ミックス)	食材 毎回 学校は3検体, 保育所は1 検体を検査する	1食ミックス(おかずごとミックスで 全品)	食材
検査品目の 選定基準	野菜, 肉	なし(ミックス検査のため)	町民からの要望, 東北産優先
結果の 公表方法	インターネットのみ	給食だより	食べる前にインターネット 給食だより
各施設の 検査頻度	毎月1回	公立小中学校 公立保育園は毎日 民間保育園は隔週 (2013.9.14訂正)	月に4～6品目
検査の給食 提供前後	提供前(前日に検査する)	提供前	提供前
産地、品目の 選別	業者に任せている。	—————	産地を考慮 シイタケ使用禁止
検出時の対応	検出されたら検討する	教育委員会で実施する事前検査 で市が定めた1キログラム当たり20 ベクレルを超える数値が検出され た献立は、園児及び児童・生徒に は提供しません。	Cs1核種あたり20Bq/kg検出され たら提供しない。
対象施設	町立小中学校, 町立保育園	公立学校, 公立および民間保育 所 公立保育園はなく、民間保育 園は対象外(2013.9.14訂正)	公立の学校および幼稚園 保育園は民間のため、町は把握 していない。
食材の 産地公開	インターネットにて事後公開	事後, 給食だより	事前に産地予定表を献立表の裏 に記載。その中から市民が検査し てほしいものをリクエスト

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	小川町	川島町	吉見町
検査の有無	○	×	○
測定器の機種	シンチ (TN300B)	2012年5月に1度だけ検査を実施。その時はシンチ	シンチ (TN300B)
検出下限値	I131は10～13Bq/kg Csは各10～22Bq/kg	—————	Csのみ各10Bq/kg
測定器保有数	0	0	0
自治体測定器以外	県施設(熊谷市)	—————	県施設(熊谷市)
給食方式、その数	給食センター(1) 9校 保育 公立3園, 私立3園	給食センター(1) 8校 保育 公立2園	給食センター(1) 7校 保育 公立1園
測定主体	学校教育センター学校教育課 子育て支援課	教育委員会教育総務課 学校給食センター	教育総務課 給食センター係
検査方法 (食材、ミックス)	食材	—————	食材
検査品目の 選定基準	野菜中心	—————	野菜中心
結果の 公表方法	インターネット	—————	インターネット, 献立だよりに前月分の結果を公表
各施設の 検査頻度	月2回	—————	月に2回 単品野菜と混合野菜を1点ずつ
検査の給食 提供前後	提供前	—————	提供前
産地、品目の 選別	業者から提示される見積もりにはいろいろな産地があるので、その中から、福島から遠いものを選んでいる。(給食センターの調理師の話)	地元→埼玉→国内→外国の優先順位。放射能は考慮しない。	北海道, 九州など福島から遠い産地を指定して業者に注文している。(給食センターの調理師の判断だと考えられる)
検出時の対応	未回答	—————	検出された場合は不使用
対象施設	町立小中学校, 町立保育園 私立にも対策のお願いをしたが、町は把握していない	—————	公立のみ
食材の 産地公開	事前にインターネット, 献立表で公開	今月分の使用予定食材と, 前月分の使用食材をインターネットで公開	事前に公表。インターネットと献立。検査する品のみ。

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	鳩山町	ときがわ町	東秩父村
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	ゲルマ (EMF211)	ゲルマ	シンチ
検出下限値	10Bq/kg以下(1けた台)	I131, Cs134,137各3~10Bq/kg	I131, Cs134,137各10Bq/kg前後
測定器保有数	1	1	0
自治体測定器以外	なし	なし	県施設(熊谷市)
給食方式、その数	給食センター(1) 4校 保育 公立1園	給食センター(1) 5校 保育は自園方式 公2, 私2	給食センター(1) 3校 保育1
測定主体	学校給食センター	給食センター	教育委員会
検査方法 (食材、ミックス)	食材3品 1食ミックス	1食ミックス 食材2品	食材5品
検査品目の 選定基準	_____	地場産に近いもの	測定の日を使用する食材で、学校給食会では測定していないもの
結果の 公表方法	インターネットで午後	インターネット	給食だより, 広報
各施設の 検査頻度	毎日	毎日	1学期に1回
検査の給食 提供前後	提供前(食材)調理と並行 提供後(ミックス)出来上がり後	提供前	提供前(公表は食後)
産地、品目の 選別	地場産を多く使用	_____	地元産の野菜, 肉 栄養士の判断で, シイタケは月に 1回程度
検出時の対応	50Bq/kgなど大幅な検出であれば,外部の業者に委託し,精密に検査し直す。10Bq/kg程度で検出したことがあったが,基準値100Bq/kg以下なのでそのまま使用,保護者へは「検出なし」で報告。	基準値以内は提供,町の基準は不明。	検出されたら使わない。
対象施設	公立小中学校 保育園は検査なし	小中学校, 保育所	公立小中学校
食材の 産地公開	インターネットで公開しているが,全部ではない。分かるものだけ。分からないものについて,問い合わせれば業者に確認し答える。	事前に献立表に記載	給食だより

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	熊谷市	秩父市	本庄市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ	シンチ (TN300B)	ゲルマ
検出下限値	I131, Cs134,137各10Bq/kg	I131, Cs134.137各10Bq/kg	I131, Cs134.137各10Bq/kg
測定器保有数	0	1	0
自治体測定器以外	県施設(熊谷市)	なし	外部委託
給食方式、その数	自校方式 11校 給食センター方式(2) 34校 保育所 公立13 私立24	自校1, 給食センター30, 保育園:公立7, 私立7, 認定4	給食センター(1) 本庄上里18校 自校方式 児玉地区6校 保育所:公6, 私15
測定主体	教育総務課 保育課	教育委員会事務局 保健給食課	教育総務課(児玉小中学校) 子育て支援課(保育所) 本庄上里学校給食センター(本庄)
検査方法 (食材、ミックス)	1食ミックス 食材	学校:1食ミックス, 翌日の食材2品 保育:1食ミックス, 翌日の食材1品	1週間ミックス 保育所はおやつも
検査品目の 選定基準	東日本産	使用頻度の高いもの	なし(ミックス検査のため)
結果の 公表方法	インターネット, 給食だより	インターネット, 広報	インターネット
各施設の 検査頻度	各校月2回	毎日1施設を順に。 各施設ごとの回数は決まってない	毎週1回
検査の給食 提供前後	事前の場合も, 事後の場合もある。	提供前(食材) 提供前(1食ミックス)	提供後
産地, 品目の 選別	_____	_____	_____
検出時の対応	検出された食材は以後使用しない。	50Bq/kgを目安に検討	食材ごとに再検査をしてどの食材から検出したのかを突き止め, 結果によって協議。
対象施設	公立小中学校, 公立保育園	公立学校・保育園 私立から希望があれば公立と同様に行う。	公立小中学校, 公立保育所
食材の 産地公開	給食だよりで事後	測定した食材のみ後日公開	インターネット

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	上里町	深谷市	横瀬町
検査の有無	学校○	○	○
測定器の機種	ゲルマ	ゲルマ シンチ	シンチ (TN300B)
検出下限値	I-131 0.6前後, Cs-134 0.8前後, Cs-137 0.8前後	ゲルマI131, Cs134.137各2Bq/kg シンチI131, Cs134.137各10Bq/kg	I,Cs134,137各10～15Bq/kg
測定器保有数	0	0	0
自治体測定器以外	(株)食環境衛生研究所(群馬県前橋)	外部委託 県施設(熊谷市)	学校:県施設(横瀬町) 保育:——
給食方式、その数	給食センター(1 本庄市と共同) 7校 保育園 公2 私4	給食センター(2) 7校 自校方式 22校 保育:公立7, 私立28	給食センター(1箇所) 2校 外部委託 保育園公1(株ニックス=委託業者)
測定主体	本庄上里学校給食組合保育 こども課こども青少年係	教育総務課	学校給食調理場 教育委員会 教育総務グループ 横瀬町保育所
検査方法(食材、ミックス)	1週間ミックス 給食で実際に提供した1食分を1週間(原則として5日分)ごとにまとめて検査	1食ミックス(外部委託検査) 食材(県施設測定器での検査)	食材(学校のみ毎週1回 3品目)
検査品目の選定基準	なし(ミックス検査のため)	季節ごとに使用頻度の高いもの	特にないが、同じものにならないようにいろいろな食材を検査
結果の公表方法	原則、翌週火曜日にインターネットで公開	給食だより, インターネット	インターネット
各施設の検査頻度	学校は毎週	学校:ミックス年4回, 食材年2回 保育:ミックス年4回, 食材年1回	学校:毎週1回 保育:なし(町は業者に任せてあると回答, 株ニックスに問い合わせたところ検査していないと回答)
検査の給食提供前後	提供後	提供後 (当日午後に検査する)	学校 提供前 保育 ——
産地、品目の選別	注文時に公表されたデータを検討して、放射能が検出される可能性のある食材は排除している。	——	特にしていない。
検出時の対応	まず、汚染食材を特定し、その数値をみて、本庄上里学校給食組合内で検討する。	——	県に報告する。国、県の基準に従う。
対象施設	小5校, 中2校 町立保育園はH24/9で検査終了	公立小中学校, 公立保育園	公立小中学校 保育は検査していない
食材の産地公開	学校:毎月予定を事前公開, インターネットで公開	保護者が問い合わせれば答える。インターネットや給食だより等での公開はしない。	検査品のみインターネットで公表, 他の食材は公開していない。

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	皆野町	長瀨町	小鹿野町
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ (TN300B)	シンチ	シンチ (LB200)
検出下限値	I,Cs134,137各10～15Bq/kg	Cs134,137各10Bq/kg前後	合算40Bq/kg
測定器保有数	0	0	2
自治体測定器以外	県施設(横瀬町)	県施設(横瀬町)	なし
給食方式、その数	給食センター(1)5校 保育園 民間2	給食センター(1)3校 保育所 私立2園	自校方式1校 給食センター(3)7校 保育 町立2 私立1
測定主体	学校給食センター 学校教育担当	保健体育課 学校給食センター	学校教育課
検査方法 (食材、ミックス)	食材	1食ミックス 食材2品	食材
検査品目の 選定基準	野菜・肉・牛乳など	—————	東北、関東のもの優先
結果の 公表方法	インターネット	インターネット	インターネット, 給食だより
各施設の 検査頻度	毎週1回 6品目	週1	月に3, 4回
検査の給食 提供前後	提供後	提供後	提供前
産地、品目の 選別	地産地消, 特に産地の選別はしていない。	地産地消	—————
検出時の対応	検出時は教育委員会と相談する	県に報告	基準値超えは使用しない
対象施設	公立小中学校・幼稚園 (民間保育所は対象外)	公立小中学校 (保育園は民間のみ対象外)	小中学校, 公立幼稚園, 保育園
食材の 産地公開	学校 毎月の予定をインターネット で公表	インターネット	事後

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	美里町	神川町	寄居町
検査の有無	○	○	学校○ 保育×
測定器の機種	ゲルマ (ORTEC社)	シンチ (TN300B)	ゲルマ シンチ
検出下限値	Cs134, 137各5Bq/kg	Cs合計24~33Bq/kg	I131, Cs134,137各10Bq/kg
測定器保有数	0	0	0
自治体測定器 以外	外部委託(株)環境科学コーポ レーション	県施設(熊谷市)	外部(埼玉県環境検査研究協会) 寄居町役場内(消費者庁貸与)
給食方式、 その数	自校式 4校 保育所 私立4園	給食センター(1) 6校 保育 公2 私1	給食センター(1) 9校 保育 公立4, 私立4
測定主体	学校教育課	給食センター 町民福祉課	寄居町立学校給食センター
検査方法 (食材、ミックス)	1食ミックス	食材(単品)4品を20分測定	食材 1週間ミックス(5食分)
検査品目の 選定基準	なし(ミックス検査のため)	野菜中心	_____
結果の 公表方法	3日後にインターネット	学校はインターネット, 町の広報 保育は園で公表	事後にインターネット, 給食日より
各施設の 検査頻度	各校年3回(各学期1回)	年3回(学期ごと)	ミックス, 食材ともに週1回
検査の給食 提供前後	提供後	提供後	提供後
産地、品目の 選別	地場産を多く使うよう県から指示さ れている 産地の指定, 選別はしていない。	特になし	考慮なし
検出時の対応	検出されたことはなく, 検出時の対応も決まっていない。	県に報告。県の基準に従う。	_____
対象施設	町立小中学校, 幼稚園, 民間保 育園	学校 保育(公立民間同じに実施)	町立学校のみ 保育園は対象外, 民間保育園は 独自に検査するところもある。
食材の 産地公開	公開していない。	公開していない。 問い合わせには答える。	事後にプリントで配布, 保育 産地は公表している。

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	行田市	加須市	春日部市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ	ゲルマ(ミックス) シンチ(食材)	ゲルマ(ミックス GEM20P4-70) シンチ(食材 TN300B)
検出下限値	I131, Cs134,137各20Bq/kg	I131、Cs134.137各2～6Bq/kg	ゲルマ I,Cs134,Cs137 各10Bq/kg シンチ I,Cs134,Cs137 各10Bq/kg
測定器保有数	1(市内の業者から寄贈)	0	0
自治体測定器以外	なし	ミックスは外部委託 県施設(宮台町)	株式会社江東微生物研究所 県施設(宮代町)
給食方式、その数	給食給食センター(1) 24校 保育 公立3, 私立9	学校:給食センター(3) 27校 保育所:公立7, 私立14	自校方式 28校 給食センター(1) 9校 保育所 公11 私18
測定主体	給食センター	学校教育部 学校給食課	学務課給食担当 学校給食センター 保育課保育担当
検査方法(食材、ミックス)	食材	1食ミックス 食材	学校:1食ミックスをゲルマで測定。食材を毎月1,2校で1～3品をシンチで測定している模様 保育:1食ミックスをシンチで測定
検査品目の選定基準	市内のもの, 県内のもの	使用頻度の高いもの	食材:学校ファーム(学校の菜園)の収穫物を測定
結果の公表方法	給食センターのインターネット、給食だより	インターネット, 学校には直接通知, 保護者へは給食だより	インターネット
各施設の検査頻度	週3品目	ミックス:月1回 食材:月2回	学校:ミックス(1学期に1回)/食材:収穫時(春秋が多い) 保育:ミックス(3回/年)
検査の給食提供前後	提供前	提供前(食材 提供後になることもある) 提供前(1食ミックス)	提供前(食材) 提供前(1食ミックス)
産地、品目の選別	なし	業者に放射能検査報告書を求めているが、市から産地の指定していない。	地産地消の推進, 市場に流通している食材を使用, 国県の出荷制限などを確認して使用。
検出時の対応	使用停止	—————	出ないだろうが前提なので, 未定。出たときに相談する。
対象施設	公立小中学校, 公立保育園	公立小中学校, 公立保育園	公立小中 保育園, 私立保育も含む(私立は全部ではない)
食材の産地公開	給食だよりと給食センター。インターネットで公表。提供前, 提供後両方	事後に公表	使用食材の産地情報は, 使用月の翌月にインターネットで公表(毎月10日前後に更新)。

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	羽生市	越谷市	久喜市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ(TN300B 学校) シンチ(外部委託)	シンチ (日立アロカ)	シンチ
検出下限値	I,Cs134,137各10/kg	Cs各10Bq/kg	Cs134・137各4～18Bq/kg
測定器保有数	0	2	0
自治体測定器以外	学校:県施設(宮代町) 保育:(株)メディアース・ビケン	主食については埼玉県学校給食会	国民センター貸与1 県施設(宮代町)1
給食方式、その数	給食センター(1) 14校 保育 公7 私4	給食センター(3) 45校 保育 自園方式 公立18, 私立18	給食センター(3) 15校 自校方式 3校 保育 市立6, 私立16
測定主体	学校教育課学校給食係	学校教育課給食係	学務課
検査方法 (食材、ミックス)	学校:単品食材1品 保育:1食ミックス	食材	食材3品 1食ミックス
検査品目の 選定基準	羽生市内の食材 (地元産は検査していないことが わかっており、地元農家に検査を お願いするわけにもいかないの で、自治体が検査をしている)	キノコ, 魚優先 他まんべんなく	_____
結果の 公表方法	インターネット	食べる前にインターネット	インターネット
各施設の 検査頻度	学校:月1回 保育:隔月(第4火曜)	毎日	学校:食材3回/週, ミックス2回/週 保育:食材2回/週, ミックス1回/週
検査の給食 提供前後	学校:提供前 保育:提供後	提供前	提供後(食材は前日) 提供後(1食ミックスは事後)
産地、品目の 選別	学校:魚に関しては東日本の太平 洋側を避けている。	汚染の産地を考慮, 1度でも出荷停止のあった関東5 県の野菜は使用しない	地産地消を推進する観点から、で きる限り地元産の農産物を使用す る。
検出時の対応	学校:出たら産地(地元産)を変える。 保育:_____	検出時は代替品にて対応	_____
対象施設	学校 保育園	公立保育園, 小中学校, 私立認 可保育所	公立小中学校, 公立保育園
食材の 産地公開	学校:1ヶ月の予定をインターネッ トで事前公開	私立保育園以外。 公立は1ヶ月分を事後に公表	インターネットにて事前

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	八潮市	三郷市	蓮田市
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ (EMF21)	シンチ (EMF211)	ゲルマ シンチ
検出下限値	I131, Cs134・137各5Bq/kg	Cs134が15Bq/kg Cs137が10Bq/kgの合算25Bq/kg	Cs134.137合計20Bq/kg 牛乳は合計5Bq/kg
測定器保有数	1(他に出荷用1)	2	0
自治体測定器以外	なし	消費者庁貸与	埼玉県食品衛生協会検査センター 県施設(宮代町) 消費者庁貸与
給食方式、その数	給食センター(1) 15校 (外部委託 東部給食給食センター) 保育 公立8 私立4	給食センター(3) 27校 保育 市立12, 私立5	自校調理 13校 保育園は自園 公立6 私立1
測定主体	環境リサイクル課 学務課・教育総務課・子育て支援課	学務課学校給食室 すこやか課(保育園)	教育総務課 子ども支援課
検査方法 (食材、ミックス)	食材ミックス(前日検査 1食分) 1食ミックス(当日検査)	食材(5品目) 1食ミックス	食材
検査品目の 選定基準	被災地のものは極力避けているが、西からのものは選んでいない	流通しているものは安全との前提から、考慮なし。(ただし小中学校ではシイタケ・タケノコは安価な中国産, 干しシイタケは九州産)	地元産優先
結果の 公表方法	ホームページ(各月)	インターネットのみ	インターネット
各施設の 検査頻度	学校は毎日 保育園, 幼稚園は月2回	小学校は週2回(月・金) 中学校は週1回(水)	週1回
検査の給食 提供前後	提供前(食材 前日に検査) 提供後(1食ミックスは完成後)	提供後 (午前中, 検査するが, 結果は食後になる)	提供後 (当日検査しても, 業者委託の関係で結果は食後になる)
産地, 品目の 選別	ミックスなので選定なし	当日使う肉・野菜・近海産の魚を優先	汚染の産地を考慮している
検出時の対応	50Bq/kg以上でゲルマ測定。測定後の対応で特に規定がないのが現状。幼児の給食に関しては検出下限値を超えたらその日のすべての献立(ミックスなので)をやめ, パンなどに切り替える予定。	今のところ検出限界を超えたものは出ていない。食べた後のことになるが, 検出された場合はゲルマ測定し正確な数値を調べる。今後その産地のものをしばらく避ける。	保育所: 決まっていないが, 調理師に連絡, その産地のものは今後控えるなど検討。 学校: 再度検査し, 基準値超は使用停止。基準値以下なら数値にもよるが, その時検討。
対象施設	公立保育園, 公立小中学校, 私立	公立小中学校, 公立保育園 私立は対象外。	公立学校, 公立保育園
食材の 産地公開	1ヶ月分をインターネットで公表。委託先の(協)東部給食センターのHPでも見られる。	「H25年度7月分学校給食生鮮食品等の産地」がインターネットで公表されている。	保育所: 献立表に記載なし。問い合わせには答える。 学校: 献立表に産地の記載有り。

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	幸手市	吉川市	宮代町
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ (テクノエーピー社製, TN300B)	シンチ	シンチ (TN300Bベクレルモニター)
検出下限値	I131, Cs134,137各10Bq/kg	I131, Cs134.137各10Bq/kg	合算20Bq/kg
測定器保有数	0	0	0
自治体測定器以外	県保有(宮代町)	東部市民サービスセンター内 (消費者庁貸与)	なし
給食方式、その数	自校方式 12校 自園方式 保育 市立3, 私立1	自校方式 2校 給食センター(2) 8校 保育は自園(献立統一)市2 私7	給食センター(1) 7校 保育 町立2 私立3
測定主体	子育て支援課(保育) 教育委員会 総務課(学校)	学校教育課 給食保健係	学校教育担当, 保育課
検査方法 (食材、ミックス)	保・小・中学校共に, 食材(単品) 検査のみ	1食ミックス	食材
検査品目の 選定基準	決まっていない。前日の単品検査 なので翌日の食材の中で使われ るものを検査する。	なし(ミックス検査のため)	関東, 東北のものを中心に
結果の 公表方法	ホームページと, 各保育園に検査 結果のポスターの貼り出し	食べる前にインターネット	インターネット, 給食だより
各施設の 検査頻度	保育園は月1回 小中学校は月2回	毎日	毎週2回, 3品目
検査の給食 提供前後	提供前 (保・小・中学校共に前日)	提供前	提供前
産地、品目の 選別	保育園は基本的には地産地消。 シイタケやタケノコなどは愛知や 長野県産を使用。 小・中学校はとくに考慮はしてお らず, 業者に任せている。	地元産にこだわる。 きのこ類使用禁止	—————
検出時の対応	前日の検査で検出された食材は 使用しない。	国の基準の半分が検出されたら 牛乳とおにぎりに代替	食材単体ごとの測定により 70Bq/kgを超えた場合には, 食材 を代替品に変更するか, 当該食 材を除外した献立に変更する。
対象施設	幼稚園はお弁当。小中学校は私 立学校は無し。保育園は公立の みを対象。私立は対象外。	公立小中学校, 公立, 私立保育 園私立	公立小中学校, 公立保育園
食材の 産地公開	インターネットで1ヶ月分を学校別 に公開している。 検査品は前日検査した直後, 産 地と結果を公開	事前に産地予定表を公表	インターネットで翌月の産地公開

埼玉県市町村別の給食放射能対策

自治体名	白岡市	杉戸町	松伏町
検査の有無	○	○	○
測定器の機種	シンチ	シンチ (TN300Bベクレルモニター)	シンチ (ATOMTEX社AT1320A)
検出下限値	I131, Cs134.137各10~20Bq/kg 前後	Cs各10Bq/kg前後	合算40Bq/kg
測定器保有数	0	0	1(給食センター設置)
自治体測定器 以外	県施設(宮代町)	県施設(宮代町)	なし
給食方式、 その数	自校方式 10校 保育 公立3, 私立2	給食センター(1) 9校 保育 公立3, 私立3	給食センター(1) 5校 保育 公立1, 私立4
測定主体	教育総務課	杉戸町給食センター	給食センター
検査方法 (食材、ミックス)	食材	食材	学校:食材 保育:1食ミックス
検査品目の 選定基準	—————	使用日前日に納入しやすいもの	東北, 関東のもの
結果の 公表方法	後日インターネット	食べる前にインターネット, 事後に行政だより	インターネット, 給食便り
各施設の 検査頻度	2品ずつ月2回 自校式だが、統一メニューで仕入 れ先も同じ	月2回	学校:1日2品ずつ, 月に10日程度 保育園:食後のミックス測定を週1 回
検査の給食 提供前後	提供前	提供前	学校:提供前 保育:提供後
産地, 品目の 選別	野菜のみ	考慮なし	—————
検出時の対応	決まっていない、検出したら公開 する	—————	基準値を超えた場合使用しない。
対象施設	公立小中学校, 公立保育園	公立小中学校, 公立保育園	公立小中学校, 公立保育園
食材の 産地公開	事前に産地予定表を公表	インターネットにて事前公表	インターネット, 給食便り。事前に 分かるものはインターネットで事前 公表

お願い

本資料の内容の誤りや自治体の対策の変更等にお気づきの方は、下記アドレスまでお知らせください。連絡をいただき次第、内容を確認し、3.11 市民ネット深谷のホームページ上で訂正内容を告知し、掲載の PDF 資料も更新いたします。

fukaya3.11@gmail.com (3.11 市民ネット深谷)

調査 子ども未来@寄居・深谷 HP <http://yoriifukaya-kodomo.jimdo.com/>
作成 3.11 市民ネット深谷 HP <http://fukaya311.jimdo.com/>
発行 2013 年 9 月 1 日 v. 130829
